

【担当教員名】 吉田光昭	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期・後期	必修・選択	選択
	単位数	6	時間数	90

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

精神保健福祉論は、精神保健福祉士養成課程科目の中で中心的な位置付けを与えられている。

この講義では、はじめに障害者福祉に共通して理解しておくべき理念および施策、実践的課題について学び、次にそれを土台にして精神障害者への支援の諸課題や関連法規への理解を深める。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

1. 障害者福祉の理念と意義を説明できる。
2. 精神障害者福利の歴史と理念を説明できる。
3. 精神障害者の人権について説明できる。
4. 精神保健福祉士の理念と意義について説明できる。
5. 精神障害者に対する相談援助活動の基本を理解できる。
6. 精神保健福祉士法等に関する法律の意義と内容を理解し、説明できる。
7. 精神保健福祉施策の概要を理解し、説明できる。
8. 精神保健福祉の関連施策について理解を深め、説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考
1～6	【障害者福祉の理念と意義】 障害者福祉の理念、障害及び障害者の理解、 障害者福祉の基本原則、障害者福祉の基本施策	1	講義
7～10	【精神障害者福利の歴史と理念】 精神保健福祉と精神障害、その歴史と理念 精神保健福祉ならびに精神障害者とその家族の現状	2	講義
11～14	【精神障害者の人権】 精神障害者の権利、精神医療における権利擁護 地域における精神障害者への偏見	3	講義
15～18	【精神保健福祉士の理念と意義】 精神保健福祉士の意義、精神保健福祉士の支援対象 精神保健福祉士の専門性と倫理	4	講義
19～24	【精神障害者に対する相談援助活動】 相談援助活動の方法、相談援助活動の事例	5	講義
25～28	【精神障害者に関する法律】 精神保健福祉士法の意義と内容、 精神保健福祉法の意義と内容、 障害者自立支援法の意義と内容。	6	講義
29～36	【精神保健福祉施策の概要】 精神保健福祉行政、精神保健福祉に関する行政組織、 精神保健福祉施策の課題、社会復帰施策など	7	講義
37～43	【精神保健福祉の関連施策】 医療保険制度、雇用・就労支援 所得保障、経済負担の軽減など	8	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	適宜紹介する。 へるす出版または中央法規出版の「精神保健福祉士養成セミナー」「養成講座」の教科書のうち、 いずれかを使用する予定。			
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 受講者と教員の間で協議の上決定。	【履修上の留意点】 原則として『精神医学』を履修済みのものに限定する。
----------------------------	--